



2022年もまもなく終わりです。

12月に入ってからフィンランドの寒さと大雪には、ただただ圧倒されています。

一方、通りのイルミネーションやクリスマス・マーケットは本当に美しく感じます。

12月6日の大統領夫妻主催独立記念日レセプションは、とても印象的でした。

自分の人生の中で、ヘルシンキの生活を経験することが出来て、幸運だと思います。

2022年の日本とフィンランドの関係は、コロナ感染を乗り越え、再び活発になってきました。

5月にサンナ・マリン首相が日本を訪問しました。以後、政治、防衛・安全保障、経済のそれぞれの分野で、閣僚初め高いレベルの相互訪問が続いて行われました。

コロナの関係では、日本への帰国にお困りになった邦人の方々には日本大使館の領事班が出来るだけのお手伝いをさせて頂いたつもりですが、お役に立てましたでしょうか。

文化面では、「日フィン友好年2022」として友好写真展を初め「ラクスマン大黒屋セミナー」等様々な行事を行いました。大使公邸では、元日本留学生の会等を開催しました。

私自身、首都内だけではなく、イマトラ、ラハティ、サヴォンリンナ、ミッケリ、オウル、ユヴァスキュラを訪問し、交流促進に努めさせて頂きました。

この勢いは2023年も続いていくように感じています。マリン首相が言われた「信頼の

パートナーシップ」を具体的に進めて行きたいと思います。

一方、日本、フィンランドを取り巻く国際情勢は非常に厳しいものがあります。

私の約40年間の外交官生活で、世界がこれほどの災厄に覆われていた時は初めてではないか、と感じられる程です。

ちょうど今、日本では「すずめの戸締り」というアニメ映画がヒット中です。新海誠（しんかい まこと）監督の新作です。そこでは、日本各地の廃墟の扉から災いが噴き出し、すずめという名の主人公が扉をひとつひとつ閉じていく、という物語です。

2023年は、世界中でこのように現在災厄をもたらしている扉を、人々が少しずつでも閉じていくことが出来る年になれば、と願います。

皆様が穏やかなクリスマスを過ごし、そして良い年をお迎えになられますように。

Hyvää joulua ja onnellista uutta vuotta !

2022年12月

駐フィンランド日本大使 藤村 和広

